

環境
アセスメント

風力



風力発電のための 環境アセスメント

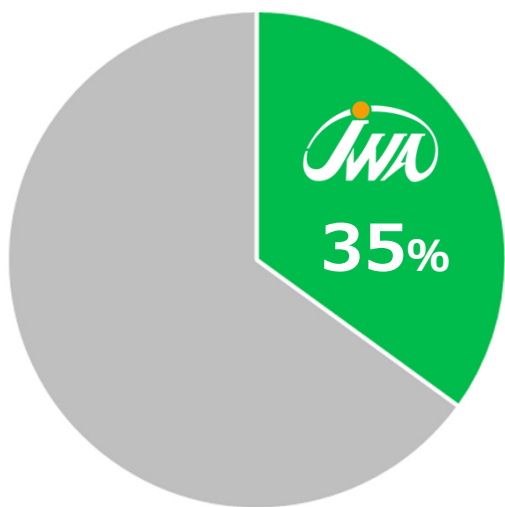
事業計画の立案段階における環境リスクの把握から、
環境の調査・予測・評価まで行います。

日本気象協会は、環境アセスメントのプロフェッショナルとして、
風力発電事業を環境の側面からコンサルティングします。

豊富な実績に基づくコンサルティング

日本気象協会は、全国30道県で風力発電の環境アセスメントを担い、国内シェアは35%※を有します。このシェアを支えるのは、専門技術者と、1960年代から蓄積してきた環境調査と環境アセスメントのノウハウです。この技術を生かし、陸上・洋上風力発電の環境アセスメント事業を進め、環境にやさしい風力発電の実現を目指します。

※日本気象協会調べ（2023年2月現在）



▲風力発電の環境アセスメント国内シェア



事業計画立案段階でのコンサルティング

風力発電の事業計画立案段階において、環境面の事業リスクの事前コンサルティングを実施しています。既存資料や経験豊富な専門技術者の見地を元に、事業リスクを把握し、環境影響の低減や効率的なアセスメントの実現のために、コンサルティングサービスを行います。

- ・計画地周辺の環境リスクの情報の収集
- ・地域特性を考慮した環境側面からの事業計画への提案
- ・事業特性に合わせた効率的なアセスメント手続きの提案



洋上風力発電のための漁業影響調査の実施

地域特性を踏まえ、環境アセスメントでの調査経験を活かした調査計画を提案します。
また、環境アセスメントでの調査と一体で行うことにより、よりスムーズな調査を実現します。

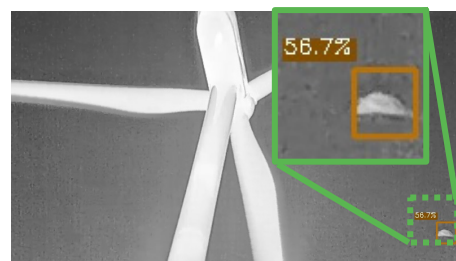


▲漁業影響調査の一例

バードストライクを監視 鳥類監視システム

日本気象協会では、バードストライクに関する調査のための鳥類監視システムを提供しています。

鳥類監視システムは「鳥類軌跡抽出システム」と「バードストライク検知システム」で構成され、風車近傍の鳥類の飛翔を24時間連続で遠隔監視することが可能です。順応的管理*が求められる洋上風力発電において、環境アセスメントの事後調査や環境監視の手法として活躍します。



▲AIが飛翔体を検知した様子

*順応的管理：継続的なモニタリングと評価を行い、運用の見直しを行う管理手法



〒170-6055
東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 55F
事業本部 環境・エネルギー事業部

Tel: 03-5958-8142 Mail: ke-eigyo_kankyo@jwa.or.jp